ライオンズクラブ国際協会333－C・7R・3Z

ASAHI LIONS CLUB――会報

2006～2007 NO. 1

We Serve

友愛

キャビネットスローガン

オンリーワン、ナンバーワン、奉仕の心は日本から

クラブスローガン

次代へ継ごうライオンズの心

会長方針

集まろう!!

NO. 128 編集 旭ライオンズクラブ 会報・記録保存委員会 〒289-2516 旭市口の 810-9 ☎ 0479－62－2314 FAX 0479－62－2314

二世会員三役登場

“集まろう!!”

会長　L林　秋生

この度、栄光と伝統に輝く、旭ライオンズクラブ第４１代会長という大役を仰せつかり責任の重さを痛感しつつ、クラブ発展の為に全力を尽したいと思います。

今年度三役は全員二世、初代の父は全員会長経験者というプレッシャーを受けつつ、幹事 L 山口宗男、会計 L 木内善博と共に二世トリオとして頑張って行きたいと思います。

去る３月１２日のクラブ結成４０周年記念式典を厳粛かつ格調高く盛大に挙行し、名実共に３３３－C地区内最大のクラブとして、クラブの品格、クラブマンとしての自覚を表現出来たと思います。

我々三役はその４０年の歴史と良き伝統を継続する事が使命であり、責任と思い、今年度クラブスローガンを「次代に継ごうライオンズの心」としました。

又、今年度はリジョンチェアパーソンのホストクラブとなり、ＲＣＬ伊東 諒、地区ＰＲ情報委員 L加瀬欽造、地区ＹＥ委員 L古作 稔と共に、7リジョン内のクラブ例会訪問をしましたが、メンバーの数だけではなく、老・壮・青のバランスという点でも他のクラブの模範となっています。

これからは、会長方針の「集まろう!!」という事で、親睦に奉仕に諸々の行事に御参加していただき、５０周年にむけてのスタート、第一歩の年としたいと思いますので、メンバー皆様方の御指導、御協力をよろしくお願いします。

“緊張しています”

幹事　L山口宗男

４０年を超える歴史と伝統を誇る旭ライオンズクラブの幹事という大役を拝命し大変緊張しています。今年度のクラブスローガンと会長方針に沿うべく、林会長の下、木内会計と共に努力して参りますので皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。

“頑張ります”

会計　L木内善博

会計として、一年間一生懸命頑張りますので、メンバーの皆様のご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

第７リジョンをリード!!
「旭ＬＣの４０年越え」

リジョンチェアパーソン　Ｌ 伊　東　　諒

永遠の輝きを信じて歩み続ける旭ＬＣは、結成４０周年の節目を渡った。

４１代の三役は誰？しかも７リジョンのホストクラブになる年度ともなると。

注目された新三役は会長経験ライオンの二世から選ばれた。偶然か必然かは知る由もないが、何れにしても素晴らしい人選と指名委員会への評価はすこぶる高い。

９代会長・故 林 欽哉氏を父上に持つ「林 秋生ライオン」はクラブスローガンを「次代へ継ごう　ライオンズの心」と定めた。名実共に３３３－Ｃ地区最大のクラブにまで導いた諸先輩のライオンズ魂を次代に継ぐのが自分たちの務めであり責任と言い切る新会長に拍手を送りたい。

１２代会長・山口敏夫氏は現在悠々自適の人生を送られているが、温厚で真面目な父親譲りの「山口宗男ライオン」がクラブ幹事となり、１７代会長の 故 木内直義氏を父とする「木内善博ライオン」は父上同様のスピード出世でクラブ会計に就任した。

３０年そして４０年と歴史を積み重ねて来た多くのクラブは、如何にして揺るぎない継続を手中にするかと模索する中、明日へと継ぐパイプ役が我々の任務と自認する三役が出現した事で、旭ＬＣの明日は約束されたと言えるだろう。

今年度は、予想もしなかった事として私が第７リジョンのチェアパーソンに推薦され重責を担っている。ホストクラブとして強力な支援体制を敷いて協力してくれる三役を始め旭ＬＣメンバーに、心からの感謝を申し上げたい。

第７リジョンＰＲ情報委員　Ｌ 加　瀬　欽　造

旭ライオンズクラブの皆様方には、日頃大変お世話になりまして有り難うございます。

このたび、地区ＰＲ、情報委員という大役をお引受けすることになりました。微力ではありますが、Ｌ伊東 諒ＲＣの御指導を頂きまして、私なりに一生懸命努める所存でございますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

それではＰＲ情報委員会の目的について申し上げます。ＰＲはライオンズクラブの事業目的や、活動内容を一般社会に広く宣伝、広報することであり、一方情報は会員に対してライオンズクラブの歴史や組織、活動内容、その他会員が必要とする情報を提供することであります。又、ＰＲ、情報委員は情報誌（出会い）の編集について積極的に意見を述べ、より良い情報誌作りに努力をし、委員長の指揮のもと、所属のＲＣ及びＺＣと緊密に連携し、主に所属のリジョン内クラブの活動を取材、送信することとなっております。どうぞこれからも旭ライオンズクラブの皆様方の御指導、御協力を節にお願い申し上げまして私の挨拶と致します。

第７リジョン地区ＹＥ委員　Ｌ 古　作　　稔

今期、地区ＹＥ委員を務めさせて戴く事になりました。

世界では、約７０ヶ国がＹＥを実施して居ります。日本では、約４５ヶ国と青少年の交換をして居るそうです。３３３－Ｃ地区のＹＥ事業は１９８１年に始まり、２６年目を迎えようとして居ります。

今期は夏期の派遣は１３名、受入れのホスト家庭は１３家庭でした。これからは冬期の派遣及び受入れ家庭のオリエンテーションが始まります。任期中、ＹＥ活動の発展に微力ではありますが、メンバー各位の御協力を戴きながら務めさせて戴きますので、宜しく御願い致します。

第969回例会　2006年7月6日（7月第1例会）

始めての乾杯
これからが楽しみです!!

今年一年　奉仕の心を袋に入れて

ライオンテーマー　L 椎名勝男です

担当副会長（L 加瀬良雄）と各委員長

担当副会長（L 森 正志）と各委員長

担当副会長（L 渡辺幸俊）と各委員長

第970回例会　2006年7月20日（7月第2例会）

あずさ2号ご乗車ありがとうございました　L 片山でした

文化と教養の旭ＬＣ　L 網中のスピーチ

今月のアクティビティー

きれいになりました

上手でしょう？

御苦労様でした

7/29　やすらぎ園納涼会で林会長のあいさつ

第971回例会　2006年8月3日（8月第1例会）

歓　迎

３３３－Ｃ地区第７Ｒ 第３Ｚ ゾーンチェアパーソン		Ｌ 鈴 木　　一
飯岡ライオンズクラブ	会　長	Ｌ 鈴 木 峰 雄
	幹　事	Ｌ 山 本　　繁
	会　計	Ｌ 嶋 田 一 豊
３３３－Ｃ地区第７Ｒ 第３Ｚ ホスト幹事		Ｌ 向 後　　充
◆第２回 旭市児童生徒科学作品展について		酒 井 誠 一 先生
旭市図工・美術夏季作品展について		山 口 賢 憲 先生

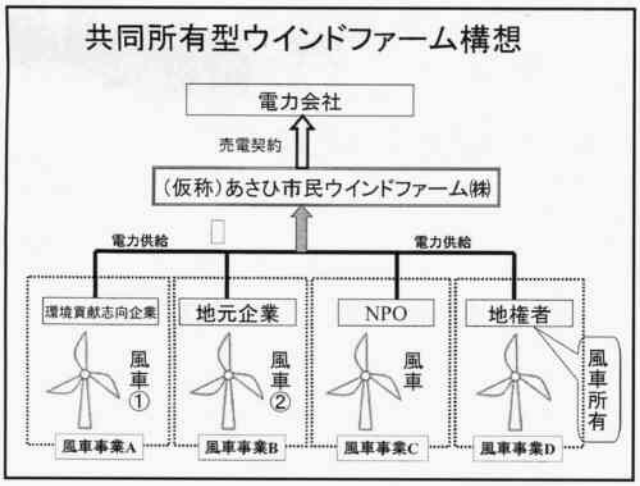
歓迎のあいさつ　森副会長

ゾーンチェアパーソンも参加　恒例の天突き体操

第972回例会　2006年8月17日（8月第2例会）

講師紹介　L 伊藤和則

「地球環境と経済活動」
講師　自然エネルギー市民ファンド
代表取締役　鈴木　亨様



今月のアクティビティー

献血会場・保健センター

第973回例会　2006年9月7日（9月第1例会）

歓　迎

３３３－Ｃ地区	第７Ｒ リジョンチェアパーソン	Ｌ 伊東　諒
〃	第７Ｒ 第３Ｚゾーンチェアパーソン	Ｌ 鈴木　一
〃	地区ＬＥＯ委員長	Ｌ 宮内　隆
〃	第７Ｒ地区ＰＲ情報委員	Ｌ 加瀬欽造
〃	第７Ｒ地区ＹＥ委員	Ｌ 古作　稔
〃	第７Ｒ地区ＩＴ委員	Ｌ 菅谷　寛
〃	第７Ｒ第３Ｚ事務局長	Ｌ 向後　充

第７Ｒチェアパーソン　Ｌ伊東 諒のあいさつ

地区役員の皆様

新会員プロフィール

氏　　名　椎名勝之（しいな かつゆき）

生年月日　昭和２２年４月３日

自宅住所　旭市井戸野１１４７番地

自宅電話番号　０４７９－６３－８４０２
（ＦＡＸ）６４－１４８９

職　　業　酪農・農産物直売

役　　職　千葉北部酪農農業共同組合代表理事組合長
農業組合法人　椎名牧場　代表

第974回（同伴例会）　2006年9月16日　於 ビューホテル

集まろう　大勢の参加をいただいて

担当委員長　L 斉藤 茂 あいさつ

さあ 乾杯　前会長 L 伊藤尭昌

前 三 役 御 夫 妻

司会御苦労様　まあ一杯

また　会う日まで

アクティビティー　“明日の旭を担う青少年„

旭少年少女卓球クラブ“旭スタークラブ Ⅱ„

旭市少年少女サッカー交流大会

青少年健全育成剣道大会

リジョン役員と青少年委員会の面々

旭市児童生徒科学作品展会場

旭市図工・美術夏季作品展会場

クラブ活動報告書

（2006年７月～2006年８月）

７月　５日（水）　新旧財務委員会　　於　事務局
　　６日（木）　７月第１例会（初例会）
　　９日（日）　旭少年少女卓球クラブ『旭スタークラブⅡ』激励会に出席
　１０日（月）　財務委員会　　於　事務局
　１１日（火）　市民奉仕委員会　　於　旭楼
　１３日（木）　７月度理事会
　１６日（日）　第１０回少年少女サッカー交流大会に三役出席
　２０日（木）　７月第２例会
　２１日（金）　旭ＬＣ初代幹事 故 Ｌ水村次郎の告別式に参列
　２５日（火）　木曽義昌公史跡公園の清掃奉仕活動　　市民奉仕委員会
　２７日（木）　「視力ファーストキャンペーンⅡ」オリエンテーションにリジョンチェアパーソン、会長、幹事出席
　２７日（木）　会員委員会　　於　マンツーマンアカデミー５Ｆ
　２９日（土）　「やすらぎ園」納涼盆踊り大会に三役出席

８月　３日（木）　８月第１例会（ゾーンチェアパーソン例会訪問）
　　９日（水）　計画委員会　　於　ロンロン
　１０日（木）　８月度理事会
　１２日（土）　学警連青少年健全育成剣道大会に三役出席　　旭市総合体育館
　１３日（日）　新盆見舞い　　三役にてお参り
　１４日（月）　第１回愛の献血事業の実施
　１７日（木）　８月第２例会　　自然エネルギー市民ファンド　鈴木亨氏講話
　１７日（木）　会員委員会　　於　旭楼
　２１日（木）　会報記録保存委員会　　於　ロンロン
　２３日（水）　小さな親切運動支部総会に会長出席　千葉興業銀行旭支店
　２９日（火）　リジョンチェアマン他例会訪問打ち合わせ　　於　黄鶴

９月　２日（土）　第２回旭市科学作品展・図工美術展
　　４日（月）　会員委員会　　於　ロンロン
　　７日（木）　９月第１例会（リジョンチェアマン他例会訪問）移動例会
　１４日（木）　９月度理事会
　１６日（土）　９月第２例会（レディース同伴例会）　成田ビューホテル
　１７日（日）　第１回ガバナー諮問委員会　　飯岡荘
　１８日（月）　やすらぎ園敬老会に三役にて出席
　25日（月）　干潟ＬＣ主催　干潟中学校弁論大会に三役出席
　２７日（水）　銚子ローヤルＬＣ主催　チャリティーゴルフ大会　４名出席　レインボーＣＣ
　２８日（木）　飯岡ＬＣ主催　旭市中学校英語発表会に三役出席
　２９日（金）　旭ＬＣ　故 Ｌ石崎将夫の告別式に参列

唐詩 ——杜甫——

春望

国破山河在　国破れて山河在り
城春草木深　城春にして草木深し
感時花濺涙　時に感じて花にも涙をそそぎ
恨別鳥驚心　別れを恨みては鳥にも心を驚かす
烽火連三月　烽火　三月に連なり
家書抵萬金　家書　万金にあたる
白頭掻更短　白頭　掻けば更に短く
渾欲不勝簪　渾べて簪に勝えざらんとす

国は破壊されてしまったが、山河はもとのままに存在している。都は今や春であるが、草木ばかりが生い茂って人影はない。乱れた時勢に感じては、美しい花を見ても涙が流れ、家族との別離を恨んでは、楽しそうな鳥のさえずりにも心をびくつかせる。烽火は三月になってもやまず、家からの便りは、今や万金もの値打ち。白髪頭はかきむしればむしるだけ抜けまさり、髪をまとめる簪を挿そうにも、これではまったくとまりそうにない。

絶句

江碧鳥逾白　江碧にして鳥は逾いよ白く
山青花欲然　山青くして花は燃えんと欲す
今春看又過　今春　看みす又た過ぐ
何日是帰年　何れに日か是れ帰年ならん

江はふかみどりに流れ、その上を飛ぶ鳥の白さが目に染みる、山はあさみどり、その中に花が燃えるように紅く咲いている。ことしの春も、みるみるうちに過ぎてゆく。いったい、いつの日が、帰れる年になるだろう。

前半二句で春の盛りの景色を詠い、自然のエネルギーの満ちあふれているさまを、整った対句にによって美しく表現し、後半の二句では、そのような自然の中にあっての自分の心情を詠う。このような所で無為に日を送らねばならぬやりきれなさを吐露する。

曲江

朝回日日典春衣　朝より回りて　日日春衣を典し
毎日江頭尽酔帰　毎日　江頭に　酔を尽くして帰る
酒債尋常行処有　酒債　尋常　行く処に有り
人生七十古来稀　人生　七十　古来稀なり
穿花蛺蝶深深見　花を穿つ　蛺蝶は深深として見れ
点水蜻蜓款款飛　水に点ずる蜻蜓は款款として飛ぶ
傅語風光共流轉　伝語す　風光　共に流転し
暫時相賞莫相違　暫時　相賞して　相違うこと莫からん

朝廷より退出すると、日ごとに春の衣装を質に入れ、来る日も来る日も、曲江のほとりで酔いしれては帰宅する。「中国の朝廷では、文字通り朝早く政治が行われる。夜明けとともに参内し政務は午前中に終わるのが普通であった。」「典」とは、質入れ。

酒手の借金は、いつでも、どこでも、ついてまわるのに、人が生きつづけて七十になるのは、古来、めったにないことだ。いわゆる「古希」ということばは、この詩を出典とする。

晩春の花むらが深いゆえに、それをぬって舞うちょうちょうは、深々と花にかくれつつ、また深々とわずかにその姿を表すのである。

晩春の水がやわらかくぬるむゆえに、それに尾を触れるとんぼは、款款と水に親しみつつ、また款款とゆるやかに飛ぶのであろう。

「風光」伝統的な詩語として、意味もひびきも美しい。風と光であり、またそれに代表される景色＊景物である。春の風光も、そこに身をおく杜甫も、ともに時間の流れのなかを流転する存在にすぎない。そのことは、杜甫自身よく知っているだけに杜甫は伝語する。

この美しい晩春の風光よ、どうか暫時は、その美しさを私の眼前から奪わないでほしい。それは、風光の美を賞でたいと思う私の願いにそむく事になるから。そしてその願いがかなえられる限り、私もまたここを去ることなく、心からその美を味わい尽くそう。

唐詩 ―― 酒 ――

涼州詞（りょうしゅう）　王翰（おうかん）

葡萄美酒夜光杯　葡萄の美酒　夜光の杯
欲飲琵琶馬上催　飲まんと欲すれば　琵琶　馬上に催（うなが）す
酔臥沙場君莫笑　酔うて沙場に臥（ふ）すとも　君笑うこと莫（なか）れ
古来征戦幾人回　古来　征戦　幾人か回（かえ）る

葡萄の美酒、夜光の杯、まさに飲もうとするとき、馬上からうながすように琵琶の音がひびく。その一つひとつが、西域渡来の物産であり、西北的なエキゾチシズムを生み出している。都遠き辺塞を守る兵士が、白玉の杯に満ちた葡萄酒につかの間の酩酊を求めようとするとき、馬上ではそれをうながすかのように、西域ふうの音楽が西域ふうの楽器によって、奏でられる。「琵琶」は本来馬上で弾ずるものとされ、手で絃を前に払うのを「琵」pi、後に払うのを「琶」paという、西域の言語からの音訳である。美酒に酔い、この砂漠に倒れ臥そうとも、君よ、どうか笑わないでくれ。古来、遠く戦地に出て、無事に帰ったものは幾人いるだろうか。（葡萄putao＝西域の言語）

この詩について、次のようなエピソードを聞いたことがある。

日中戦争のさなかのことである。大陸を走る列車の車中で、日本軍人の一団が酒に酔って放歌、高吟、車内の中国人は一様に眉をひそめて嫌悪の情をあらわしていた。たまたま乗り合わせた日本人が、言葉も通じぬままにこの詩を紙に記して中国人旅客に示したところ、かれらはたちまち笑顔に変わって、「了解」の意を表したという。

中国人側は、敵味方の対立を超えて、いっとき人間的な共感に心を開いたわけだった。

選び抜かれた言葉の持つ力の大きさを、如実に物語る一例である。

勧酒　于武陵（うぶりょう）　井伏鱒二の訳詩

勧君金屈巵　君に勧む　金屈巵（きんくつし）　コノサカズキヲ受ケテクレ
満酌不須辞　満酌辞するを須（もち）いず　ドウゾナミナミツガシテオクレ
花発多風雨　花発（ひら）いて　風雨多し　ハナニアラシノタトエモアルゾ
人生足別離　人生　別離（べつり）足る　「サヨナラ」ダケガ人生ダ

会報・記録保存委員会

担当副会長　L 渡辺幸俊

委員長	L 新行内攻	副委員長	L 小林博		
委員	L 神崎幸男	委員	L 片山勲		
委員	L 鏑木照雄	委員	L 林栄作		
委員	L 梅谷長秀	委員	L 林正樹		

発　行　旭ライオンズクラブ
事務局　旭専門店会内
〒289－2516
千葉県旭市ロの810-9
TEL 0479(62)2314専用
FAX 0479(62)2314
編　集　会報・記録保存委員会
発行日　２００６年１１月１６日